

第 54 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 2 日目

会場: 富山県富山市岩瀬ソフトボール場(A 球場)

期日: 2019/9/7 9:00~

▼2 回戦

環太平洋大学 2 0 0 2 0 0 4 8

京都産業大学 0 0 0 1 0 0 4 5

環: 萩原(4 回)井上裕(3 回) — 長谷川

京: 北村(5 回)山根(2 回) — 永田

本塁打: 吉永(環)

三塁打: 桑村(環)

二塁打: 小原②、島尻、黒岩(以上環)

戦評

初回 1 死から 2 番島尻が四球を選び出塁、3 番吉永の内野ゴロの間に進塁し 2 死 2 塁。4 番小原が初球を叩き、右中間を破るタイムリーツーベースを放ち先制。5 番大城(直)も左中間にタイムリーヒットで続き、幸先よく 2 点を先制。

4 回表この回先頭の 5 番大城が四球を選び、代走井上(翔)。6 番昆野が送りバントで 1 死 2 塁から 7 番長谷川の内野ゴロの間に 3 塁へ進み、ここで 8 番谷口(美)がレフト前に弾き返し 3-0。9 番桑村も左中間を破るタイムリースリーベースヒットで 4-0 とリードを広げる。

4 回裏にヒット 3 本と四球で 1 点を返され満塁のピンチがあったが、後続を断ち最小点で切り抜け 4-1。

5 回表この回先頭の 2 番島尻が左中間へツーベースで出塁、3 番吉永の内野ゴロの間に進塁し 1 死 3 塁のチャンス。しかし後続が続かず無得点で 4-1。

7 回表 1 番黒岩がツーベースで出塁。2 番島尻がライト前ヒットで無死 1.3 塁。3 番吉永が 1-0 からライトスタンドへスリーランホームランで 7-1。続く 4 番小原もこの日 2 本目となる右中間へのツーベースでチャンスメイク。

続く大城(直)が四球を選び、内野ゴロとパスボールで 1 死 2.3 塁。代打谷口(将)が粘って四球で満塁。8 番谷口(美)がレフトへ犠牲フライを上げて 8-1。打線は本調子とは言えなかったが、要所で追加点を奪い 8 点を奪ったが残塁が目立った。

先発萩原の調子は今ひとつだったが 1 失点に切り抜け代わった井上(裕)が最終回に捕まり、2 失策とまずい守備も絡み 4 点を奪われ 8-5 となったが何とか逃げ切り 2 回戦にコマを進めた。